

平成29年度 福岡県小郡市施策評価シート

【政策・施策名】		【施策の基本目標】	【投入されたコスト及び業務量】																	
政策	5 生きる力を育む教育と地域文化づくり	<p>歴史に息づく文化財や文化遺産に関する認識を深め、地域や市民の総意で大事に守りながら、市民の誇りとなるよう努めます。また、情報を市内外へ発信し、教育・まちづくり・観光などにも活用していきます。</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">投入コスト(千円)</th> <th>H29年度決算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">事業費(財源内訳)</td> <td>国支出</td> <td style="text-align: right;">103,500</td> </tr> <tr> <td>県支出</td> <td style="text-align: right;">3,365</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td style="text-align: right;">100,300</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">26,656</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td style="text-align: right;">79,680</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計(千円)</td> <td style="text-align: right; background-color: #ffff00;">313,501</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">※本施策の推進にかかった全事務事業の事業費合計額を表示しています。</p>	投入コスト(千円)		H29年度決算	事業費(財源内訳)	国支出	103,500	県支出	3,365	地方債	100,300	その他	26,656	一般財源	79,680	合計(千円)		313,501
投入コスト(千円)			H29年度決算																	
事業費(財源内訳)	国支出		103,500																	
	県支出		3,365																	
	地方債		100,300																	
	その他		26,656																	
	一般財源		79,680																	
合計(千円)			313,501																	
施策	7 文化財																			
施策内容	1 文化財保護活動の推進		P5071																	
	2 文化財の活用	P5072																		
	3 小郡官衙遺跡群の整備・活用	P5073																		
	4 九州歴史資料館との連携	P5074																		
	5																			
	6																			
	7																			
	8																			
	9 その他	P5079																		

【施策の進捗状況・評価及び今後の施策展開】	
教育部長	施策の進捗状況・評価 小郡官衙遺跡の平成27年度指定対象分の公有化ができた。市指定有形文化財「平田家住宅」の保存・活用のため、地方創生拠点整備交付金事業で建物の改修整備を行い、併せて建物及び用地の公有化を実施した。古建築整備事業では、平成30年度完成に向け旧松崎旅籠油屋の復原を進めている。小郡ふるさと歴史検定を実施し、歴史ジュニア博士と併せ文化財の普及啓発活動を行った。
	今後の施策展開 国指定の小郡官衙遺跡等については、今後の具体的な整備計画に基づいて進めていく。油屋の復原については、将来的な活用を視野に入れ整備していく。平田家住宅をはじめ各地域にある史跡・建造物・祭りなどの文化遺産の整備を行い、それぞれを活動拠点にして、地域の文化と歴史を基本とした教育・まちづくり・観光を推進していく。
	施策の進捗状況・評価
	今後の施策展開

【第5次小郡市総合振興計画における成果指標】

成果指標番号	成果指標	担当課	担当係	基準値(H26)	H27年度実績	H28年度実績	H29年度実績	H30年度実績	H31年度実績	H32年度実績	最終目標(H32)
75	国・県・市指定文化財の指定・登録件数	文化財課	文化財係	22件	23件	24件	25件				25件
76	文化財の保全・活用に対する満足度(市民アンケート調査結果より)	企画課	企画政策係	65.7%	-	-	-				66.0%

【施策を実現するための主な事務事業とその状況】

施策コード	業務名	業務の概要	担当部署			平成29年度指示内容					
			部名	課名	係名	決定内容	指示内容	決定権者			
P5071	史跡等総合活用支援推進事業	市内所在遺跡の発掘調査成果および歴史・民俗資料に関する情報を体系的に整理し、埋蔵文化財調査センター展示室・体験学習室、小郡官衙遺跡公園を始めとした史跡、埋蔵文化財調査センターホームページを活用して公開する。これによって、地域文化の醸成と文化財保護理念を広めるとともに、「歴史と文化の薫るまち」である小郡市を市内外へPRする。	教育部	文化財課	文化財係	拡大	学校教育や生涯学習との連携を進め、歴史を活用して郷土への愛着がもてる事業内容を検討し実施をしていくこと。	部長			
			成果指標	指標名					単位	H29実績	
				①	市民からの体験型学習会依頼回数				回	9	
		②	体験型学習講座参加人数	人	291						
P5072	市内古建築整備事業	平成15年度に策定した油屋整備基本構想に基づき、市指定有形文化財旅籠油屋の文化財的価値を損なうことなく、松崎区を中心とした市民に公開活用するため整備する事業である。平成22年度に着手し、油屋本体の一部を公開した。平成24年度には構造上危険であった中油屋を解体・調査、平成25～26年度に復原を行い、市民に公開している。平成26年度には油屋敷地の公有化を実施し、広く市民に活用できるよう整備を進めている。平成27～28年度に油屋の解体を実施、平成28～30年度に復原を行い、市民に活用される場としての整備を進める計画である。平成30年度には松崎区および油屋を中心とした観光パンフレットを作成し、市内外からの観光客を誘致する。	教育部	文化財課	文化財係	現状維持	平成30年度末の復原完了に向け、事業を着実に実行するとともに、復原後の活用も検討していくこと。	部長			
			成果指標	指標名					単位	H29実績	
				①	油屋解体調査・保管・復原				件	1	
		②									
P5072	伝承等文化資源調査活用事業	本市の自然や民俗を「地域の文化資源」としてとらえ、その視点から伝承や方言、身近な自然とそれに適合させてきた人々の生活についての聞き取り調査を進めていくことを中心に、並行して伝承遺称地、地域の文化財などについても調査・保存・整備を継続的に行い、その特長を活かした地域活性化につなげていく。	教育部	文化財課	文化財係	終期設定	国庫補助事業としての採択が見送られているが、補助事業の採択が条件となるため採択に向けた調査を行ってほしい。	課長			
			成果指標	指標名					単位	H29実績	
				①	「聞き取り選集」、「報告書」等配布数				部	3	
		②	講演会・報告会等への参加人数	人	63						

【施策を実現するための主な事務事業とその状況】

施策コード	業務名	業務の概要	担当部署			平成29年度指示内容				
			部名	課名	係名	決定内容	指示内容	決定権者		
P5071	小郡市歴史文化基本構想策定事業	平成24年度から進めてきた小郡市内文化遺産再発見事業の成果を基に、一貫性を持って文化財保護政策を進めるための基本構想を策定する。まず、市内文化遺産悉皆調査のさらに詳細な追加調査を実施し、市内文化遺産の全体像の把握、各地域の特徴の抽出を行う。同時に市民・有識者などが一体となった策定委員会を編成し、ワークショップやパブリックコメントの実施などを通して、地域の魅力の増進・活性化を目指して、この基本構想を策定する。	教育部	文化財課	文化財係	拡大	文化財保護政策を一貫性を持って進めていくために、歴史文化基本構想策定においては、地域住民や民間団体の協力が必要であるため、説明会の実施やHPの活用等積極的な情報発信に努めていくこと。	部長		
			成果指標	指標名					単位	H29実績
				①	小郡市歴史文化基本構想策定進捗率				%	20
②										
P5072	町家活用事業	平成28年度から平田家住宅の建物修繕を行う。建物修繕後は、小郡町家地区の地域コミュニティづくりと活性化を目的とした日本の伝統文化を学ぶ講座の開催や体験講座を実施する。また、平田家住宅の一部を利用して小郡市の近代化発展過程を学ぶことのできる資料展示を行う「小郡町家展示室」を一般公開する。展示室では町家地区の観光案内、地域産物の陳列等を行い、地域発展の拠点の一つとすることを旨とする。なお、平田家住宅の一般公開に向け、公有化を行う。	教育部	文化財課	文化財係	現状維持	NPOに委託する事業部分もあるが、今後の活用の方法について地元保存会との協議を行い、予算化と国への申請は市が主体となって行うので、遺漏なきよう事務を進めていくこと。	部長		
			成果指標	指標名					単位	H29実績
				①	平田家住宅の修繕				箇所	2
②										
P5071	薩摩街道干潟野越堤整備事業	平成28年に九州で初めて発見された薩摩街道と野越堤を兼ねる江戸時代の遺構を保存・活用するために、市道(平成29年4月に県道から市道に移管予定)を東側に迂回させて建設する事業。不動産鑑定及び測量調査の後に現道の東側隣接地(民有地)を買収し、道路工事を実施する。	教育部	文化財課	文化財係	終了		部長		
			成果指標	指標名					単位	H29実績
				①	新規に市指定文化財となった史跡の数				件	1
②	道路整備の進捗率	%	100							
P5073	小郡官衙遺跡群史跡公有化事業(小郡官衙遺跡・上岩田遺跡)	平成22・23年度に指定範囲や公有化手順を決める保存管理計画(小郡官衙遺跡群 小郡官衙遺跡 上岩田遺跡 保存管理計画書)を策定した。今後、それに則って、追加指定を進め、指定地を公有化する。平成26年度に590-4(330.57㎡)、平成27年度に552-33(441㎡)・590-3(482.57㎡)・590-10(165.35㎡)・579-5(245.71㎡)・579-9(250.86㎡)、平成28年度に590-2(386㎡)・11(21.85㎡)・12(396.68㎡)・13(31㎡)・16(8.81㎡)の追加指定を行い、平成28～31年度事業として公有化を進めている。上岩田遺跡については、平成24年度で既指定地の買い上げを終了した。平成29年度以降、指定地周辺の追加指定検討のために確認調査を実施する。	教育部	文化財課	文化財係	現状維持	土地の移転の申し出があるのは、決まった時期ではなく、突然のことが多いと思うが、地域住人の動向、県や文化庁との連絡など迅速な対応が必要である。また次年度以降の事業実施に向けての予算化については見積の精査を十分に行うようお願いする。	課長		
			成果指標	指標名					単位	H29実績
				①	-				-	-
②	-	-	-							
P5072	市内文化財団体育成業務	地域の文化財の保存を目的として、地元の文化財保存団体へ補助金を交付する。	教育部	文化財課	文化財係	負担の見直し	団体が補助金を得て行っている事業について、それらが適正な使われ方をされているのか、精査・検証する必要がある。	課長		
			成果指標	指標名					単位	H29実績
				①	保存団体活動件数				件	6
②										
P5071	文化財普及啓発業務	学校教育・社会教育における郷土史分野の学習支援を行うと同時に、小郡市が持つ歴史的・文化的情報を市内外へ発信する。そのため、市内遺跡から出土した考古資料及び市内所在の歴史資料と、それらに関する情報の整理・収蔵・管理・提供を実施する。	教育部	文化財課	文化財係	拡大	啓発普及部門は文化財行政の根幹ともいえる部分であり、副読本「ふるさと小郡のあゆみ」を活用した歴史検定やジュニア歴史博士など郷土愛を育む事業の充実を図ること	部長		
			成果指標	指標名					単位	H29実績
				①	学習指導受講者数				人	3,852
②	講座・展示の受講者・見学者数	人	1,302							
P5071	重要遺跡発掘調査業務	指定史跡及び今後指定が検討される史跡の内容確認のための発掘調査を行う。また、個人住宅の建築や零細事業者の開発等に係る発掘調査を行う。	教育部	文化財課	文化財係	現状維持	各地の震災等の影響で建物基礎の構造補強が一段と厳しくなることが予想される。個人住宅の発掘調査は、補助金を得るために、現行制度のもとで業者の対応が施主者に申請させる等巧妙になっている。国の補助制度の理念をもう一度検討し、重要遺跡の補助制度を使うのかどうかという根本的な問題を検討しながらやってほしい。	課長		
			成果指標	指標名					単位	H29実績
				①	発掘調査後開発された件数				件	2
②										
P5071	道路建設関係発掘調査業務	道路建設に伴い破壊される埋蔵文化財を保護する事を目的として、発掘調査を実施し、出土した遺物を保管するだけでなく、その成果を記録保存という形で保護し、後世に伝えるための事業である。	教育部	文化財課	文化財係	縮小	新設道路については常に情報収集を行い対応をお願いしたい。	課長		
			成果指標	指標名					単位	H29実績
				①	埋蔵文化財発掘調査報告書発行率				%	100
②										
P5071	緊急民間開発発掘調査業務	民間の開発事業に伴い、遺跡が壊される場合に発掘調査を行う。	教育部	文化財課	文化財係	現状維持	社会の動向を注視しながら、民間開発の対応に留意してほしい。また、費用負担の問題は、民間にとっては極めて重要なことなので、丁寧な説明を行ってほしい。	課長		
			成果指標	指標名					単位	H29実績
				①	民間開発等に伴う発掘調査対象地(周知の埋蔵文化財包蔵地)				件数	178
②	民間開発等に伴う発掘調査対象面積	㎡	2,673							
P5071	緊急公共事業関係発掘調査業務	公共事業関係の開発に伴い、発掘調査を行う。	教育部	文化財課	文化財係	その他	公共事業であるので、一定の計画は把握できるが、近年では緊急の公共工事も入ってくる状況である。市道や都市計画線引きの変化などを十分に考慮して見直しを立てる必要がある。	課長		
			成果指標	指標名					単位	H29実績
				①	公共事業に伴う発掘調査対象箇所数				件	1
②	公共事業に伴う発掘調査対象面積	㎡	1159.7							

【施策を実現するための主な事務事業とその状況】

施策コード	業務名	業務の概要	担当部署			平成29年度指示内容				
			部名	課名	係名	決定内容	指示内容	決定権者		
P5071	平田家住宅公有化事業	市指定有形文化財 平田家住宅の一部建物改修と一般公開に向けた公有化を行う。	教育部	文化財課	文化財係	現状維持	平田家住宅に係る保存管理計画に従って計画的に公有化を進めていくこと。	部長		
			成果指標	指標名					単位	H29実績
				①						
②										
P5071	小郡南原遺跡・小郡堂の前遺跡3	下町・西福童16号線改良工事に先立つ小郡南原遺跡および小郡堂の前遺跡3の発掘調査。平成27年度に小郡南原遺跡の発掘調査、平成28年度に小郡堂の前遺跡3の発掘調査を実施し、平成29年度に出土品整理作業及び報告書作成を実施する。	教育部	文化財課	文化財係	終了		課長		
			成果指標	指標名					単位	H29実績
				①	調査報告書作成件数				件	1
②										
P5071	吹上村囲遺跡	市道新設に伴い、発掘調査を実施する。	教育部	文化財課	文化財係	終了		課長		
			成果指標	指標名					単位	H29実績
				①	調査報告書作成件数				件	1
②										
P5071	市指定文化財管理業務【第5次計画指標管理】	市指定文化財の管理を行い、新たに指定すべき文化財がある場合は、文化財保護審議会の答申を経て、指定する。	教育部	文化財課	文化財係	現状維持	年々、指定物件の管理が難しくなっているが、所有者、地元住民との日常的な意見交換を行って、信頼関係を作ることが必要。	課長		
			成果指標	指標名					単位	H29実績
				①	-				-	-
②	-	-	-							